



若松さんの孫娘さんがお二人を  
迎えに来てくれました。

「孫息子に嫁をもらってやら  
ないと」とお孫さんを気遣う  
忠雄さん。



## 余

興の合間を縫って、**阿部忠雄さん**88歳(白沢2区)と奥さんの**キエさん**82歳にお話を伺いました。「65歳までそま仕事をしていたんだ。」と忠雄さん。そま仕事とは、山の木を切り出すなど危険が伴う大変な仕事。現在は、息子さん夫婦とお孫さん一人の5人家族とのこと。忠雄さんの話に相づちを打つようにうなずくキエさんから、ご夫婦の仲の良さが感じられました。

## 矢

立地区の敬老会は、町内ごとになかなか凝った余興が次々と演じられます。気が付くと、会場の後ろには大勢の人ばかり。これは単なる敬老会のレベルではないなと感心していると、赤いスカートをもとめて、いかにも出番待ちというお二人が。早速インタビュー。「アラッ、私たちでもいいけど、もっと若い人がいるから、そちらにしたら」と**佐々木米子さん**(清水川)と**佐々木好子さん**(同)。そんな、十分に若づくり? イヤ失礼、若々しく、衣装もすてきです。カメラを向けると、チャージングなポーズで応えてくれました。

## 佐藤孝次郎さん

87歳(白沢3区)は、お一人での参加。「家内は、1週間ぐらい前から体調を悪くしていてな。それでも調子が良ければ来る予定でいたんだが...」。それは残念なことでした。

## お

た。孝次郎さんは、3年間のシベリア抑留の経験があるそうです。奥様をお大事に。開きとなって、帰り支度をしている**若松貞久さん**91歳(寺ノ沢)と奥さんの**きみさん**82歳にもお時間をいただきました。「若い頃は、陸軍将校で中隊長。復員してからは、書道の先生をしたんだ」と貞久さん。ウムりっぱな経歴! 今はデイサービスセンターに行くのが楽しみと目を細めて話してくれました。

## 苦

い戦争を体験し、戦後の混乱期を過ごし、そして高度成長を支えてこられた皆さん。いまの私たちに無い意志の強さを感じました。これからもお体をお大事に、元気で過ごしてください。

では、次回もあってグッド!

歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド

市民の皆さんが  
たくさん登場

これまでの  
登壇者数 59人

84,700人  
(H17.9.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせもじったものです。



「市が大きくなって行政も大変だね」と孝次郎さん。



「ハイ、きれいに撮ってネ」と好子さん(左)と米子さん(右)